

『いらっしゃいませ』

3 歳児

10月

伏見こども園



お客さんが座る
椅子があるね

いらっしゃいませ



おいしーい!

エピソード

ごちそうをつくって遊ぶことが大好きな子ども達は保育者に「できたよ」と見せにきます。近くにいた友達にも見てもらって嬉しかったことから、お店屋さんが始まりました。「座れるように椅子があるね」と、お客さんのために座って食べられる椅子を持ってきます。カレーとサラダとジュースを並べて「いらっしゃいませ!」とお店がオープンしました。すると保育者の隣に友達がやってきて、「いただきます」「おいしい!」と、喜んで食べました。その姿を見て店員役の子も「おかわりもありますよ」と声を掛けたり、にっこり嬉しそうに笑ったりしていました。お店屋さんごっこが楽しかった子ども達は「コックさんの白い服が欲しい」「看板もつくりたい」と、つくりたいもの考える姿も出てきています。

保育者の思い

今まではごちそうをつくるのが楽しかった子ども達。この日は、保育者や友達に食べてほしいという思いが生まれました。運動会を経て、友達との関わりが増えてきたからこそ始まったお店屋さんごっこを大切にしたいと感じました。

「いただきます」「おいしい」「おかわりありますよ」など、簡単な言葉でやりとりを楽しんでいます。友達のごちそうを食べることや、自分がつくったものを喜んでくれていることに嬉しさを感じられるように、保育者も一緒に遊んでいます。

子どもの育ちや学び

- ・ごちそうをつくる楽しさだけでなく、見てもらったり食べてもらったりする嬉しさを感じています。
- ・遊びの中で必要さを感じたものを自分達で用意する力が育ってきています。
- ・生活経験の中で、お店の中にあるものや、店員さんが来ている服装を思い出して遊びに取り入れようとしています。
- ・簡単な言葉のやりとりを楽しんでいます。

家庭だったら・・・

子ども達がつくったものを嬉しそうに見せてってくれる場面があると思います。込められた思いを聞きながら、頑張りを認めることで、もっとしたいという気持ちが湧いてくると思います。